

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

『豊かな心をもち、実践力のある子』を育てる

かしこく（知）・・・進んで学び表現する子 なかよく（徳）・・・明るく思いやりのある子
たくましく（体）・・・気力・体力の充実した子

＜本年度の学力向上策＞

1 児童一人ひとりの個性を尊重し「学ぶ・ふれあう楽しさを育む教育」の推進

- (1) 「さいたま市教育委員会委嘱 研究指定校」(平成29～31年度)として、社会に開かれた教育課程の推進を図る。「自ら課題を見出し、関わり合いの中で考えを深め、豊かに表現できる児童の育成」を主題に、教育課程や指導方法の工夫等手立てを明確にして研究成果を発信する。
- (2) 児童の興味・関心を高める授業を実践するとともに、多くの視点から児童理解を深めるため、小学校における一部教科担任制を実施し、今までの研究の成果と反省をもとに指導体制等の工夫改善を図る。
- (3) 教職員全体がユニバーサルデザイン、ノーマライゼーション、インクルーシブ教育等、特別支援教育への理解を深め、特別支援教育の充実を図る。
- (4) 多様なゲストティーチャーや地域講師等、外部の教育力の積極的な導入を図る。
・室町文化体験(6年)、福祉体験(4年)、昔の道具体験(3年)、昔の遊び体験(1年)、各学習ボランティア等
- (5) GS科専科の導入によるGS科の充実を図る。

2 「豊かな心を育む教育」の推進

- (1) 目的意識をもった体験的な活動を通して、達成感や充実感を味わわせる。
・学校、学年行事を通してやる気・笑顔・汗いっぱいの元気な辻っ子の育成を図る。
・資源回収、空き缶回収、エコキャップ回収等を通してボランティア・福祉教育の推進を図る。
- (2) 「特別の教科 道徳」の確実な実施と教育活動全体での道徳教育の推進。
- (3) 基本的な生活習慣の確立の推進。
・時間を守る(予鈴行動、下校時刻)、挨拶、返事、丁寧な言葉遣い、清掃、廊下歩行(走らない)等。
・心を潤す4つの言葉等、進んで挨拶ができ、しっかり返事ができる児童の育成。
- (4) 学び舎としての落ち着きと教育環境の整備。
・花と緑につつまれた潤いのある学校
・子どもの活動の様子や作品にあふれ、歌声が響く学校
・整理整頓され、清掃がいきとどいている学校(てきばき もくもく すみずみ ぴかぴか)
- (5) 読書活動の充実を図る。
・本の読み聞かせ(図書ボランティアによる) ・読破賞(100冊以上読破した児童へ校長から表彰)
- (6) 児童に身に付けさせたい6つの基本的な生活習慣が身に付けられるよう指導の充実をめぐる。
①時刻を守る。②身の回りの整理整頓を行う。③進んであいさつや返事をする。
④ていねいな言葉づかいを心がける。⑤学習のきまりを守る。⑥生活のきまりを守る。

＜本年度の振り返り＞

